

薬局経営学 Pharmacy business administration

薬：L1-01121MY、生命：L1-01121MS

素養科目 3、4年／後期 1.5単位 自由選択科目

科目責任者 菅野 敦之(臨床薬学部門／地域医療学)

■教育目的

薬局の業務運営に関わる周辺知識と考え方を理解し、独立起業(アントレプレナーシップ)、または組織の中核として活躍するための人事管理(マネージメント)、人材養成(コーチング法)など有用な資質を育成する。

【卒業認定・学位授与の方針:YD-①、④、⑤、⑥、SD-④、⑤】

■学習到達目標

1. 経営学の基本概念について説明できる。(知識)
2. 薬局開設・運営に係る基本事項を説明できる。(知識)
3. 患者応対時の心理的負担軽減のための考え方を説明できる。(知識、技能)
4. 社会情勢に応じた業態のあり方について意見を述べられる。(態度)

■準備学習(予習・復習)

予習：シラバスに提示された講義内容につき予備調査を行う(60分)。

復習：講義内容を復習し、さらに関連事項につき調査を行う(30分)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	薬局経営学総論	経営学の必要性を知る (薬局以外でも求められる経営感覚)	B(3)-①-1,2 B(3)-②-2 B(4)-②-1
2	薬局をめぐる業界構造	医薬分業の流れと薬局の経営の特性・形態を学ぶ	B(2)-①-5 B(1)-①-3
3	マーケティング概論(1)	マーケティングの意義とツールの概略をまなぶ	B(4)-①-2
4	マーケティング概論(2)	マーケティングツールを用いた経営手法	B(4)-①-2
5	会計の基礎	薬局会計の基本的な考え方を身につける	B(3)-①-6,7 F(2)-⑤-1,10,11
6	簿記管理の基礎	簿記の基本的な考え方を学ぶ	
7	ケーススタディ(1)	出店シミュレーション	A(1)-②-6
8	事業のリスクマネジメント(1)	ヒューマンエラーの実際と対策	A(1)-③-3,4,5 B(2)-①-7,8 F(2)-⑥-7,9,10
9	事業のリスクマネジメント(2)	薬局経営管理で考慮すべきリスクを考える	A(3)-①-3 A(3)-②-1 B(1)-①-1,2
10	事業者として知るべき患者心理	顧客の多様性 対応に苦慮する顧客	A(3)-①-4 F(2)-④-12
11	薬局経営のイノベーション	薬局業務におけるデータ活用の重要性	B(3)-①-7 B(4)-①-6
12	薬局の人事マネジメント	労務管理と Employee Satisfaction	D1(2)-⑤-2
13	薬局経営のための情報収集	行政政策等と薬局運営の視点を学ぶ	A(1)-②-2 A(5)-①-3 B(2)-①-5 B(3)-①-1
14	ケーススタディ(2)	在宅医療における医師との連携	A(1)-①-4 A(3)-②-1,2,3
15	あるべき薬局・薬剤師像とは	改正薬機法と政府の医療政策の歴史と、あるべき薬剤師の職能	A(1)-④-4 B(3)-①-1 B(3)-②-2 E2(9)-①-1

■ 授業分担者

菅野 敦之(No.1～6、8～10、12、13、15)、学外講師(No.7、11、14)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期限を厳守したレポートによる総合評価(100 %)

■ 教科書

各講義時に必要に応じて、プリントを配布する。